

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【公開番号】特開 2018-192288 (P2018-192288A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2018-152713 (P2018-152713)

【国際特許分類】

A 6 3 H 33/08 (2006.01)

A 6 3 H 33/22 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 33/08 B

A 6 3 H 33/22 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 13 日 (2019.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

半導体光源と、半導体光源の陽極が接続された第 1 陽電極部および第 2 陽電極部と、半導体光源の陰極が接続された第 1 陰電極部および第 2 陰電極部と、凸部と、凹部と、を備える玩具用のブロックであって、

他のブロックに第 1 態様で取り付けられた場合に、本ブロックの第 1 陽電極部と他のブロックの第 2 陽電極部とが接触し、かつ、本ブロックの第 1 陰電極部と他のブロックの第 2 陰電極部とが接触する第 1 接触状態が実現され、

他のブロックに第 1 態様とは異なる第 2 態様で取り付けられた場合に、本ブロックの第 1 陽電極部と他のブロックの第 2 陰電極部とが接触し、かつ、本ブロックの第 1 陰電極部と他のブロックの第 2 陽電極部とが接触する第 2 接触状態が実現され、

第 1 陽電極部および第 1 陰電極部は凸部に設けられ、第 2 陽電極部および第 2 陰電極部は凹部に設けられ、

本ブロックの凸部が他のブロックの凹部に嵌め合わされることで本ブロックが他のブロックに取り付けられるブロック。

【請求項 2】

凸部は円柱状であり、第 1 陽電極部および第 1 陰電極部は凸部に設けられ、第 1 陽電極部は凸部の軸を挟んで第 1 陰電極部の反対側に位置する請求項 1 に記載のブロック。

【請求項 3】

凸部は角柱状であり、第 1 陽電極部および第 1 陰電極部はそれぞれ凸部の異なる側面に設けられる請求項 1 に記載のブロック。

【請求項 4】

凸部の軸から見た第 1 陽電極部および第 1 陰電極部のそれぞれの存在範囲は 90 度より小さい請求項 2 に記載のブロック。

【請求項 5】

本ブロックが他のブロックに取り付けられた状態で第 1 接触状態または第 2 接触状態が実現される場合に、本ブロックの面と他のブロックの面とが揃うよう構成される請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のブロック。

【請求項 6】

第 1 陽電極部および第 2 陽電極部はそれぞれ単一の導体板の一端部および他端部に含まれる請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のブロック。

【請求項 7】

透光性を有するかまたは透明な本体をさらに備える請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のブロック。

【請求項 8】

半導体光源は単色の発光ダイオードである請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載のブロック。

【請求項 9】

第 1 部材と、第 1 部材の一端部が途中まで挿入された貫通孔を有する第 2 部材と、を含む本体をさらに備え、

第 1 陽電極部および第 2 陽電極部はそれぞれ単一の陽極導体板の一端部および他端部に含まれ、

第 1 陰電極部および第 2 陰電極部はそれぞれ単一の陰極導体板の一端部および他端部に含まれ、

第 1 部材の一端部には半導体光源が収まる空間が設けられ、第 1 部材の側面には軸方向に沿って陽極導体板および陰極導体板が固定され、第 1 部材の他端部は本ブロックの凸部として機能し、第 2 部材の貫通孔のうち第 1 部材の一端部がない部分は本ブロックの凹部として機能する請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載のブロック。

【請求項 10】

第 1 陽電極部または第 2 陽電極部は径方向に突き出た突出部を有し、

凸部または凹部もしくはその両方には、嵌め合わせの際に突出部の作用により生じる陽極導体板の曲がり逃すための空間が設けられる請求項 9 に記載のブロック。

【請求項 11】

本ブロックが他のブロックに取り付けられた場合に、第 1 接触状態または第 2 接触状態のいずれが実現されるかを示す外観的特徴を有する請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載のブロック。

【請求項 12】

請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載のブロックを含むブロックセット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明のある態様は、ブロックに関する。このブロックは、半導体光源と、半導体光源の陽極が接続された第 1 陽電極部および第 2 陽電極部と、半導体光源の陰極が接続された第 1 陰電極部および第 2 陰電極部と、を備える玩具用のブロックであって、他のブロックに第 1 態様で取り付けられた場合に、本ブロックの第 1 陽電極部と他のブロックの第 2 陽電極部とが接触し、かつ、本ブロックの第 1 陰電極部と他のブロックの第 2 陰電極部とが接触する第 1 接触状態が実現され、他のブロックに第 1 態様とは異なる第 2 態様で取り付けられた場合に、本ブロックの第 1 陽電極部と他のブロックの第 2 陰電極部とが接触し、かつ、本ブロックの第 1 陰電極部と他のブロックの第 2 陽電極部とが接触する第 2 接触状態が実現される。

本発明の別の態様もまた、ブロックである。このブロックは、半導体光源と、半導体光源の陽極が接続された第 1 陽電極部および第 2 陽電極部と、半導体光源の陰極が接続された第 1 陰電極部および第 2 陰電極部と、凸部と、凹部と、を備える玩具用のブロックであって、他のブロックに第 1 態様で取り付けられた場合に、本ブロックの第 1 陽電極部と他のブロックの第 2 陽電極部とが接触し、かつ、本ブロックの第 1 陰電極部と他のブロック

の第 2 陰電極部とが接触する第 1 接触状態が実現され、他のブロックに第 1 態様とは異なる第 2 態様で取り付けられた場合に、本ブロックの第 1 陽電極部と他のブロックの第 2 陰電極部とが接触し、かつ、本ブロックの第 1 陰電極部と他のブロックの第 2 陽電極部とが接触する第 2 接触状態が実現され、第 1 陽電極部および第 1 陰電極部は凸部に設けられ、第 2 陽電極部および第 2 陰電極部は凹部に設けられ、本ブロックの凸部が他のブロックの凹部に嵌め合わされることで本ブロックが他のブロックに取り付けられる。